

留 学 報 告 書

記入日:2018年10月12日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学アーバイン校 現地言語: University of California, Irvine
留学期間	2018年8月～2018年9月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年9月14日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～12月上旬 2学期:1月上旬～3月中旬 3学期:3月下旬～6月上旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1965年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	3,335.00ドル	407,007円	
宿舍費	1,012.00ドル	113,801円	
食費	FORMTEXT 600ドル	66,000円	\$1=¥110 換算
図書費	38.14ドル	4,195円	\$1=¥110 換算
学用品費		円	
教養娯楽費	530ドル	58,300円	アクティビティー代 / \$1=¥110 換算
被服費		円	
医療費		円	
保険費		15,710円	形態:
渡航旅費		207,820円	
雑費	1500ドル	165,000円	\$1=¥110 換算
その他		40,005円	Visa 費用
その他	95.67ドル	10,523円	T-mobile SIM / \$1=¥110 換算
その他		円	
合計		1,088,361円	

渡航関連

渡航経路: 成田空港 ⇄ ロサンゼルス国際空港

渡航費用

チケットの種類 ANA エコノミー(行きは満席でプレミアムエコノミーに無料でアップグレード)
 往路 _____
 復路 _____
 合計 207,820 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

学生寮(Arroyo Vista)

2) 部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数 2 人)

3) 住居を探した方法:

基本的に on campus か off campus を選択します。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

1 階がキッチンなどの共有スペース、2 階がそれぞれの部屋というつくりです。トイレとシャワーが一室だったのでトイレに行くとき湿気を感じました。キッチンが綺麗に保たれるかどうかはそこに住む人次第な部分です。キャンパスまでは徒歩 15 分ほどで、on campus の割に歩くなあという印象でした。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

サマーセッションオフィス、親、友達

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

アーバインは治安がいいと聞いていたので何も気にしていませんでした。実際に、盗難等の犯罪に巻き込まれたという話も聞いてないです。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯は出国前に SIM フリーの手続きを済ませ、ユニバーシティセンターの T-mobile で 30 日間 10GB 50 ドルほどの SIM を 2 度購入しました。基本的に校内も寮もスタバも Wi-Fi 接続に不自由はなかったので、パソコンは Wi-Fi のみ、時々携帯のデザリングで過ごしました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

手持ち現金、海外で引き出し可能な口座に入れた現金、日本から追加送金可能なプリペイドカード(Master)、自分のクレジットカード(Visa)を使っていました。1ヶ月半で実際に使ったのは、現金 650 ドル(主に生活費)、プリペイド 1100 ドル(生活費、アクティビティ)、クレカ 1060 ドル(Uber、遊びや買い物)でした。自分の中で親にもらったお金で払うものと自分のお金で払うものを区別していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

箸、部屋干し用の洗濯紐

(近くに日本食スーパーがあり、食料品や生活用品は揃えることが可能です)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に親のクレジットカードで支払いました。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
金融業界
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学経験を通してというより今回の留学を一区切りとして、1年後の就活に向けて考え始めました。インターンなどに積極的に参加したいと思っています。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
6 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	Session2
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が2回
担当教授	Kelly Ward, Janet Muniz
授業内容	Culture や Gender などの社会学における主なテーマについて、1講義につきチャプター1つを扱う。
試験・課題など	予習は授業の前にチャプターを読むこと、授業内課題で出席確認、授業の後にはそのチャプターに対応したクイズが20問程度出題される。ファイナルプロジェクトで自分で選んだチャプターについての授業計画書を作る。期末試験は選択形式100問。
感想を自由記入	1チャプター40ページほどあり、予習が大変でした。授業内課題も難しい時がありました。また、クイズはインターネットで回答する形式で、時間制限がなく教科書も参考にできましたが、教科書に書いてあることを自分で噛み砕いて理解することが求められており、時間がかかる上に正答率もあまりという感じでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
University Writing and Communication	ライティング&コミュニケーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	Session2
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Brandon Wolff
授業内容	教科書に沿ってライティング提出→添削→再提出という流れ。授業内で、教科書の答え合わせや書いた内容についてのディスカッションを行う。
試験・課題など	予習は教科書の問題を解くこと、課題はライティング、ライティング修正とグループでテーマに沿った 2~3 分間のビデオを撮る。中間試験、期末試験はその場で与えられたテーマについてライティングをする。
感想を自由記入	教科書にあるテーマはそれほど難しすぎず、きちんとやればこなせると思います。授業外で先生と 10 分面談の時間が数回設けられており、留学中の相談なども聞いてくれました。また、たまたま先生がアメリカ人なのですが日本語を少し話せたので、少し心強かったです。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2017年 1月～3月	
4月～7月	大学入学 ACE を履修、事務室で留学の情報収集
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	UCSS プログラム追加募集で出願
4月～7月	明治で春学期を受けつつ 4月 履修登録、オリエンテーション 6月 寮の手続き 7月 ビザ申請
8月～9月	8月 渡航、Session2 開始 9月中旬 期末試験、帰国
10月～12月	留学報告書作成

留学体験記

留学しようと決めた理由	一番初めを辿れば、高校 1 年の時に高校のプログラムにあったアメリカ・ロサンゼルス語学研修に参加して 4 週間ホームステイをしたことです。それまで英語が大嫌いでしたが、ホストファミリーと英語でコミュニケーションをとることを通じて英語に興味を持ち、頑張って勉強し始めました。そして、大学に入ったら長期留学に行きたいとずっと考えていました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力を向上させるためにスピーキング、リスニングの訓練をしておくべきだと思います。それ以外にも、自分の国のことをよく知ることも大切だと思います。
この留学先を選んだ理由	入学時から長期留学を考えていたので、政経学部の設置している ACE は 1 年の春学期から履修していました。しかし、これは自分の意思の弱さの問題だったのですが TOEFL の勉強も上手いかず、自分のスペックにも自信を持てず、長期で行くことに不安を感じていました。その頃にこのプログラムを見つけ、一度短期で本格的な授業を体験したいと思い、今回のプログラムに参加しました。また、高校 1 年の時に行ったアメリカ西海岸にもう一度行けるというのも私にとって魅力的でした。UCSS に参加した明治生で Session2 から参加したのは私だけだったようですが、それは今後長期で行くかもしれないということを考慮し、休学したくないという気持ちが強かったからです。
大学・学生の雰囲気	キャンパスはとても広く、慣れるまでは授業に行くのに Google Map を使うほどでした。キャンパスもその周辺も綺麗で、整備が行き届いていたと思います。私は使う機会がなかったのですが、レクリエーションセンターではジムやプール、体育館などが自由に使える環境でした。学生については、現地生の他にアジア系の留学生が多かった気がします。サマーセッション生だけでなく普段から UCI に通う学生とも一緒に授業を受けましたが、授業にとっても積極的に周りのレベルの高さを常に感じていました。
寮の雰囲気	私が住んでいた on campus の寮は基本的に 2 人部屋で、それぞれ机・クローゼット・ベットが備えつけられていました。夜ご飯の時は、1 階の共有スペースで話しながら食べていました。時には一緒にご飯を作ったりして、他の国の料理を食べることを通じて異文化交流ができました。他の国の人がパーティーをしていた時は、混ぜてもらって一緒に楽しむことができました。off campus の寮に友達に住んでいたのによく泊まりに行っていたのですが、3LDK に 4 人でシェアルームという感じで、1 人部屋も選択することが可能でした。キャンパスまでは歩くと 40 分かかるので、バスか Uber を利用しました。部屋、キッチン、お風呂全て綺麗で、居住者専用のプールやジャグジー、BBQ コンロまでついていました。
交友関係	アメリカに着くまでは、Session2 からの参加ということもあり知り合いが誰もいない状況でした。寮についてすぐ明治生と初めて会い、次の日に参加したオリエンテーションでは、他の大学から来ていた Session2 のみ参加の日本人と仲良くなりました。賛否分かれるところだと思いますが、寮では基本的に同じ国の人で固まっていた印象が強かったです。ただ、大学の授業についていくので一杯一杯だった私にとっては、気軽に他の棟に行ったり、一緒に夜ご飯を作ったりできる日本人がいたことは心強く感じました。中国人のルームメイトとはとても仲良くなり、よく一緒にご飯を食べて、最終日には 2 人でディズニーに行きました。英語の授業のグループワークで一緒だった中国人の友達は、ご飯や買い物に連れてってくれたりしました。1 ヶ月半だとやっとな慣れてきたところで帰国、という感じでなかなか話しかけられなかったので、もう少し最初から積極的に友達を作れたらよかったなと思います。
困ったこと、大変だったこと	留学が始まって一週間が経った頃、風邪を引いて熱を出しました。原因は教室の冷房だったと思います。自分で調節できるように羽織りものを持ったり、長袖を着たりすることは必要不可欠です。

学習内容・勉強について	最初はマネージメントと英語の授業を一つずつ取る予定でしたが、コース番号が100を越えており、実際に一度授業に出てみても難しく感じたので、マネージメントから社会学の授業に変更しました。それでも予習とクイズはとて時間がかかり、授業内課題はその場で問題が与えられて書かなければいけないのですが、その問題がよくわからず出席点をもらえなかったことが何度もあり、その時はひどく落ち込みました。英語が聞き取りやすい先生を選んだつもりでしたが、何を言っているのかわからなくなってついていけないと感じたことが多々ありました。毎回近くの人と話す時間があったのですが、履修人数がある程度いたからか毎回話す人は異なり、友達になるというよりその場限り、という感じでした。一方で、英語の授業では履修者がほぼ留学生であったからか授業についていきやすかったです。先生が親身になって授業以外の相談も聞いてくれました。グループワークを通じて友達も作ることができました。
課題・試験について	課題をやるのにとて時間をかけてしまい、寮で過ごす時間が長かったような気がします。夜中の3時寝が続くこともあり大変でした。試験に関しては、社会学は中間試験がなかった分期末試験で全範囲をカバーしなくてはならなかったのが量が膨大でした。英語はその場で与えられた問題文に対してのライティングだったので比較的やりやすかったです。
大学外の活動について	UCIのアクティビティーを使ってサンフランシスコに行ったり、帰国前日にはルームメイトとディズニーに行きました。ショッピングモールにも2.3回行きました。あまりジムなどには行きませんが、よく友達の家でプールでナイトプール気分を味わったり、ジャグジーに入ったりしていました。
留学を志す人へ	当たり前ですが、留学が自分にとってプラスになるかどうかは自分次第です。痛い目を見ることも日本に帰りたいと思うこともあると思いますが、落ち込む時は落ち込んでいい、でもそこから切り替えて頑張れるかどうかだと思います。私の場合は本当に辛くなった時に自分がこんなにも子供だったんだ、甘えて生きてきたんだということを知り、悔しさをバネに頑張ることができたので留学に行ってよかったと思っています。その時どんなに辛くても、今後自分が後悔しないと思う方向に進んでください。留学は人によって様々でいいと思うので、留学を終えて振り返った時に行ってよかったと言えるようにしてください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業			
		授業		授業	課題	課題	遊び
午後	予習	授業	予習	授業	課題	課題	↓
	予習		予習		自習	自習	
夕刻							
夜	予習	課題	予習	課題	自習	自習	